

# 人気ミステリーの名探偵が住む 近代産業発祥の街

今回の探検は、王子駅前をスタートして、北区の王子、飛鳥山、西ヶ原を歩くコースです。王子・飛鳥山は、江戸時代 桜の名所として賑わい、明治時代は製紙産業が栄えた近代産業発祥の街。西ヶ原は、人気ミステリーの名探偵が住む街として多くのファンが訪れます。歴史とミステリー小説の舞台に、いざ、出発進行!

**王子**  
**飛鳥山**  
**西ヶ原**

のんびりくつろげるオアシス  
**⑧「滝野川公園」**

滝野川体育館や地震の科学館(北区防災センター)に隣接した、夏には滝や水路で水遊びができる公園。周辺は「御殿前遺跡」と呼ばれ、昭和57年に都内で初めて郡衙(くんが・郡の役所)が発掘された。



備えあれば憂いなし  
**⑨「北区防災センター・地震の科学館」**

昭和59年に開設された東京初の防災センター。地震の科学館では、起震装置による地震体験や、煙の体験及び初期消火体験などができる。



浅見光彦ファン御用達のお店  
**⑩「平塚亭つるおか」**

作家内田康夫氏の人気ミステリー小説の主人公 浅見光彦は、北区西ヶ原に住んでいる設定。この店は小説に何度も登場している、光彦と母が大好物の和菓子屋さん。全国から多くのファンが訪れる。



春には見事なバラが咲く庭園  
**⑪「旧古河庭園」**

もとは陸奥宗光の邸宅だったが、次男の潤吉が古河市兵衛の養子となったことから、古河家の所有に。英国ルネサンス風の洋館と洋風庭園は、鹿鳴館の設計を手がけたジョサイア・コンドルの設計。



あの名探偵もここで買い物!?  
**⑫「霜降銀座商店街」**

毎年北区で開催される「名探偵☆浅見光彦の住む街 ミステリーウォーク」のコースになっている。下町情緒が残る元気な商店街。



今回の探検コースは  
**約4km**



山頂まで2分の空中さんぽ  
**①「アスカルゴ」**

公園入り口から山頂までを結ぶ飛鳥山モノレール。かたつむりに似た外観から「アスカルゴ」という愛称がつけられている(無料)。



**とあらん** 都電やSLが展示され、新幹線も見えるトレインスポット  
**②「飛鳥山公園」**


見晴らしのいい飛鳥山は、八代将軍吉宗が江戸庶民の行楽のために桜を植樹し開放した、いわば日本初の公園。今でも桜の名所として多くの人が訪れる。園内にある3つの博物館は必見。

飛鳥山の標高は25.4m!




北区は洋紙の発祥地  
**③「紙の博物館」**

明治8年、実業家渋沢栄一の提唱によって王子村に抄紙社が開業し、日本の製紙工業の先駆的な役割を果たした。戦火を免れた製紙工場の建物を利用し、昭和25年に開館。紙に関する資料は5万点以上、紙すき教室など楽しいイベントも開催。



北区の歴史を体感できる博物館  
**④「北区飛鳥山博物館」**

地域の自然や歴史について14のテーマで構成され、実物資料のほか、竪穴式住居などの実物大の復元模型や荒川の生態系のジオラマなどが展示されている。



渋沢栄一邸跡に建つ  
**⑤「渋沢史料館」**

入口では渋沢栄一氏がお出迎え

近代日本経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の91年に亘る生涯と、彼が携わった事業や多くの人々との交流を諸資料とともに紹介。旧渋沢家飛鳥山邸の2棟の大正建築(国指定重要文化財)も公開。



散策しながらゲーテにふれる  
**⑥「ゲーテの小径」「ゲーテパーク」**

ドイツの詩人ゲーテの資料館「東京ゲーテ記念館」がある通りは「ゲーテの小径」と呼ばれ、ゲーテの詩のプレートがある。また、「東京ゲーテ記念館」前の「ゲーテパーク」はゲーテの年表やレリーフが展示されている散策の休憩スポット。



日本橋からここまで二里  
**⑦「西ヶ原一里塚」**

一里塚とは街道の一里(約4km)ごとに道の両側に築かれ榎が植えられた塚のこと。現在、都内に残る一里塚は、板橋区の志村とここだけ。



**得 いんぷおめ〜しよん**

都電一日乗車券 購入で  
都営まるごときっぷ 購入で

**③④⑤の 飛鳥山3つの博物館の各館、入館・観覧料が割引に!**

●このパンフレットのデータは2014年2月現在のものです。●施設によっては入館料などがかるところもあります。4月から料金に変更になる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。●ウォーク中のケガ・事故等については責任を負いかねます。